



平成 29 年 6 月 19 日

各 位

会社名 株式会社 G S I クレオス
代表者名 代表取締役社長 中島 浩二
(コード番号 8101 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員経営企画部長 大西 文博
(TEL. 03-5211-1802)

(訂正・数値データ訂正)「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 29 年 5 月 15 日に開示いたしました「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」および決算補足説明資料の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

平成 29 年 3 月期決算短信発表後に連結キャッシュ・フロー計算書の当連結会計年度の記載内容に一部誤りがあることが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

(サマリー情報)

1. 平成 29 年 3 月期の連結業績(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29 年 3 月期	<u>1,141</u>	<u>2,452</u>	△264	12,371
28 年 3 月期	1,344	611	△1,261	9,037

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29 年 3 月期	<u>165</u>	<u>3,428</u>	△264	12,371
28 年 3 月期	1,344	611	△1,261	9,037

(添付資料 3ページ)

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,141百万円の増加（前期末比 202百万円の収入の減少）となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益や売上債権の減少などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,452百万円の増加（前期末比 1,840百万円の収入の増加）となりました。主な要因は有形固定資産の売却による収入などによるものです。

(後略)

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
自己資本比率(%)	24.3	23.3	27.4
時価ベースの自己資本比率(%)	12.5	11.5	13.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	845.5	1,311.7	<u>1,529.3</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.4	4.9	<u>5.4</u>

【訂正後】

営業活動によるキャッシュ・フローは、165百万円の増加（前期末比 1,178百万円の収入の減少）となりました。主な要因は売上債権の減少などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,428百万円の増加（前期末比 2,817百万円の収入の増加）となりました。主な要因は有形固定資産の売却による収入などによるものです。

(後略)

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
自己資本比率(%)	24.3	23.3	27.4
時価ベースの自己資本比率(%)	12.5	11.5	13.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	845.5	1,311.7	<u>10,563.2</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.4	4.9	<u>0.8</u>

(添付資料 14 ページ)

5. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	953	2,351
減価償却費	295	256
減損損失	48	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69	△143
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	113
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△140	35
受取利息及び受取配当金	△117	△107
支払利息	280	209
為替差損益 (△は益)	0	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△627	△1,626
有形固定資産除却損	120	55
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△0
関係会社出資金売却損益 (△は益)	8	—
関係会社出資金評価損	—	17
出資金売却損益 (△は益)	—	△3
事業撤退特別損失	30	—
関係会社整理損失	365	—
事業譲渡益	—	△244
事業構造改善費用	—	419
訴訟関連損失	—	86
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,156	2,689
たな卸資産の増減額 (△は増加)	400	1,182
その他の資産の増減額 (△は増加)	△712	902
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,143	△4,205
その他の負債の増減額 (△は減少)	△81	△39
その他	△111	49
小計	1,768	1,996
利息及び配当金の受取額	117	107
利息の支払額	△275	△212
事業構造改善費用の支払額	—	△30
訴訟関連損失の支払額	—	△86
関係会社整理損失の支払額	—	△359
法人税等の支払額	△266	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,344	1,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112	△1,265
有形固定資産の売却による収入	481	3,200
投資有価証券の取得による支出	△2	△13
投資有価証券の売却による収入	45	5
出資金の払込による支出	△99	△8
出資金の売却による収入	153	144
貸付けによる支出	△28	△91
貸付金の回収による収入	34	19
事業譲渡による収入	—	416
その他	139	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	611	2,452

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	953	2,351
減価償却費	295	256
減損損失	48	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69	△143
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	113
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△140	62
受取利息及び受取配当金	△117	△107
支払利息	280	209
為替差損益 (△は益)	0	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△627	△1,626
有形固定資産除却損	120	55
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△0
関係会社出資金売却損益 (△は益)	8	—
関係会社出資金評価損	—	17
出資金売却損益 (△は益)	—	△3
事業撤退特別損失	30	—
関係会社整理損失	365	—
事業譲渡益	—	△244
事業構造改善費用	—	419
訴訟関連損失	—	86
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,156	2,689
たな卸資産の増減額 (△は増加)	400	179
その他の資産の増減額 (△は増加)	△712	902
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,143	△4,205
その他の負債の増減額 (△は減少)	△81	△39
その他	△111	49
小計	1,768	1,020
利息及び配当金の受取額	117	107
利息の支払額	△275	△212
事業構造改善費用の支払額	—	△30
訴訟関連損失の支払額	—	△86
関係会社整理損失の支払額	—	△359
法人税等の支払額	△266	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,344	165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112	△1,265
有形固定資産の売却による収入	481	3,200
投資有価証券の取得による支出	△2	△13
投資有価証券の売却による収入	45	5
出資金の払込による支出	△99	△8
出資金の売却による収入	153	144
貸付けによる支出	△28	△91
貸付金の回収による収入	34	19
事業譲渡による収入	—	1,392
その他	139	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	611	3,428

(決算補足説明資料 2017年3月期 連結決算ハイライト)

キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

キャッシュ・フローの状況	2017年 3月期	2016年 3月期	当 期 の 主 な 増 減 要 因
営業活動によるCF	<u>1,141</u>	1,344	【営業活動によるCF】
投資活動によるCF	<u>2,452</u>	611	税金等調整前当期純利益や売上債権の減少などにより増加。
(フリー・キャッシュ・フロー)	3,594	1,955	【投資活動によるCF】
財務活動によるCF	△ 264	△ 1,261	有形固定資産の売却による収入などにより増加。
換算差額	△ 129	△ 117	【財務活動によるCF】
現金・現金同等物の増減	3,200	576	リース債務の返済などにより減少。

【訂正後】

キャッシュ・フローの状況	2017年 3月期	2016年 3月期	当 期 の 主 な 増 減 要 因
営業活動によるCF	<u>165</u>	1,344	【営業活動によるCF】
投資活動によるCF	<u>3,428</u>	611	売上債権の減少などにより増加。
(フリー・キャッシュ・フロー)	3,594	1,955	【投資活動によるCF】
財務活動によるCF	△ 264	△ 1,261	有形固定資産の売却による収入などにより増加。
換算差額	△ 129	△ 117	【財務活動によるCF】
現金・現金同等物の増減	3,200	576	リース債務の返済などにより減少。

以上